

## 詰め替えて毎年使える “リフィル型”おせちが初登場

来たる2018年に向けて今年そごう・西武がご提案するおせちは、繰り返し使える重箱に詰めた「リフィル型」おせち。おせちのご予約販売は、高齢化と核家族化が進み、料理の技や伝統を継承する人が減っていることを背景に、年々人気を伸ばしています。食べ切りサイズを意識した「個食おせち」や、上質な「料亭のおせち」などは近年の売れ筋ですが、今年からは新たに、重箱の中身を入れ替えれば来年も利用できるおせちをご提供いたします。

- 展開店舗:そごう・西武各店 食品売場(西武福井店、秋田店、そごう広島店を除く)
- 基本会期:9月27日(水)~12月25日(月) ※店舗により受付開始日が異なります。
- リフィル型おせち展開数:11アイテム ※店舗により展開数が異なります。
- 売上目標:前年比102%(全店計) ■中心価格帯(一段重~三段重):17,280~54,000円

※本リリースの掲載画像はイメージ、価格は税込みです。

### ■毎年おせちを食べ終わった後の重箱はどうなっているか

おせちは「幸せを重ねる」というゲンを担いで、重箱に詰めるのが伝統ですが、昨年使った重箱は各家庭でどうなっているのかをお客さまに尋ねると、「捨てられずに残している」という声が多数ありました。そこで、そごう・西武では、本年販売するおせちを「中身入り本体」として販売し、来年は「詰め替え用」をご購入いただくことで繰り返しご利用いただける「リフィル型」のおせちを考案。ご賛同いただいたお取引先各社に定型のサイズでおせちを製造していただくので、今年はA社、来年はB社と選択の幅も広がるおせちとなっております。使い捨て容器のようにゴミを出すこともない、環境配慮型の新しいおせちとしてご提案いたします。



### ■モダンな市松模様の重箱

伝統を守りながらモダンなデザインで新しい商品作りに取り組んでいる越前塗の重箱を金、赤、青、緑の4色をご用意。リフィル型おせち用に、家族みんなで楽しむおせちの大きさに合わせてご提案いたします。おせちだけでなく花見や運動会など年間を通じて使いやすいモダンな市松模様を採用し、食洗器使用にも対応させるなど、ライフスタイルと調和する食をご提案できる仕様となっております。



### リフィル型おせち 詰め替えデモンストレーション

- 9月4日(月) 午後1時から
- 二番町センタービル7階

リフィル型おせちを三段重に詰め替えるデモンストレーションを行い、担当のマーチャンダイザーが開発経緯についてお話をいたします。